

第83号

<編集・発行>



八多ふれあいの  
まちづくり協議会

TEL 078-982-0514

# ふれまち八多

## あけましておめでとうございます



平成23年12月26日(月) 八多ふれあいセンターにて

八多町自治協議会長  
八多ふれあいのまちづくり協議会委員長

岡田 孝久

### 三つの目標を掲げて

### 掲げて



平成二十四年新年のごあいさつを申し上げます。昨年は東日本大震災で日本中が大きな被害に遭いました。被災地の一日も早い復旧・復興を心から願うと共に今年が平穏な一年になるよう祈っています。

さて、八多町では今年もまず安全安心のまちづくりに取り組みたいと思います。家族や地域の絆を大切に、顔の見える関係づくりを進めます。

第二に交通問題は高齢化社会を迎える重要な課題です。近隣の町とも連携し、「北神の交通対策を考える会」を立ち上げたいと考えています。

第三は子育て支援です。地元の学校と協力し、「八多の十一年教育」は大きな成果を上げてきましたが、子どもの減少傾向に歯止めがかかりません。通学問題も含め、若者が喜んで住める環境づくりを進める必要があります。

他にも多くの課題はありますが、町民のみなさんのご支援を得て、一步一步着実に前進して行きたいと思えます。本年もご協力よろしくお願い申し上げます。

# 健闘むなしく惨敗

## 5町對抗ソフトボール大会

11月20日(日)

鹿の子台小学校で神戸リサーチパークまちづくり協議会主催(鹿の子台自治会が当番)の五町對抗ソフトボール大会が開催されました。雨で過去2回延長になったので、天気が心配されましたが、前日の雨も上がり、早朝から熱戦が展開されました。鹿の子台北・南、大沢町、道場町、長尾町、八多町の各チームに上津台・北区行政が加わり参加は8チーム。4チームずつに別れての予選の後、決勝リーグが行われ、大沢町が優勝。準優勝は上津台、3位は北区行政でした。



八多町からは西浦康夫主将を中心に、昨年の消防県大会参加者中心のメンバー「八多スポーツを楽しむ会」が参加。しかし、仕事などの都合で集まったのはぎりぎり10名。初戦で宿敵道場町との消防団ガチンコ対決に敗れ、調子がでないまま連敗。結局7位でしたが、大人から子供まで幅広い年齢層の参加があり、親睦を深められた1日でした。参加者のみなさんお疲れさまでした。

# お腹いっぱい・笑顔もいっぱい

## もちつき・クリスマス会

12月22日(木)

はふれまち主催の恒例のもちつき大会と児童館主催のクリスマス会。午前11時に2学期の終業式を終えた八多っ子達がふれあいセンターに集合。早速もちつき開始。5年生が臼と杵で次々に体験しました。その後、いよいよ食事会。



きなこ、雑煮、ぜんざいの3種類のおもちにおかわりの長い列。みんなお腹いっぱい食べて、大満足。午後1時からは大会議室で楽しみにしていたクリスマス会。ダンスや



ハンドベル演奏、ゲームなどで大いに盛り上がり、笑顔がいっぱい。最後はサンタさんからプレゼントをもらって解散しました。

# 伝統をしつかり学ぶ

## 恒例のしめ縄作り

12月26日(月)に今年もふれあいセンターでしめ縄作りをしました。参加者は約百名と例年よりかなり多め。八多幼・小・中学校の子ども達約70名。保護者・学校の先生方が約30名。今年はNPO法人ピース&ネーチャー代表のバハラムさんも特別参加。日本の伝統文化を熱心に勉強されていました。今後、機会があれば外国の子ども達も参加させたいそうです。



最初に西浦治司さん(附物)からお正月にしめ縄を飾る意味の説明を受けた後、6班に分かれて、明寿会の9名の講師から手取り足取り丁寧に教えていただきました。今年も小学校で縄ないを教えてもらう時間が取れなかったようで、最初はかなり苦労しましたが、約2時間で全員が見事なしめ縄を完成。お正月には各家庭の玄関に飾られたことでしょう。記念撮影の後、お雑煮・ぜんざいをいただいた後、八多町では伝統文化を伝える行事も続けたいと思います。明寿会のみなさんご協力ありがとうございました。

# 土木工事

## 関係のお知らせ



### 上下小名田交差点の改良

過去にたびたび交通事故も発生し、安全確保のためにかねてから要望していた大沢西宮線と三木三田線(上小名田交差点)の歩道の新設・交差点改良について、調査費が計上されました。調査・測量の後、順調にいくば25年度から工事開始の予定です。

### 深谷バス停の横断歩道

以前、深谷の三木行きバス停を設置してもらいましたが、横断歩道がなく、大変危険な状態です。今回、要望が実現して、地元の協力も得てバス停を移動し、近々横断歩道を引いてもらうことが決定しました。

### ふれあいセンターの駐車場整備

ふれあいセンターも児童館もそれぞれ年間一万人の利用があります。当然多くの子ども達や高齢者とたくさんのお車が出入りします。現在は歩道と車道が分離できていないので、来場者の安全確保のため、駐車場を改良し、歩道と車道を分離する工事が1月19日から始まりそうです。ご不便をおかけしますが、よろしくお願ひします。

# 西谷浩さん(上小名田)が新嘗祭に献穀

にいなめさい

明治25年から新年から新嘗祭では、秋の収穫祭として、全国の各府県から選ばれた農家が米と粟の新穀を献納する習わしがありました。戦後、勤労感謝の日と名前が変わってもこの儀式は続いています。

平成23年度の栄誉ある兵庫県からの献穀者に西谷浩さん(上小名田)が選ばれました。そして、昨年10月26日に宮中に参内され、無事献納の大役を果たされました。

この度、1月6日(金)にふれあいセンターでインタビューすることができました。



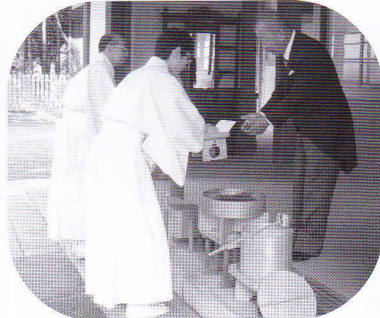
◆「キヌヒカリ・白米で一升」で、小野市の方は粟でした。

◆「どんな苦勞がありましたか？」

◇生活排水が入らない水のきれいな場所を選び、他の米と混ぜられないよう専用田で育てました。県の普及員の方が毎月見に来られました。刈り取りは県・市の立会で行いました。

## ◆献穀の日程を教えてください。

◇昨年10月25日午前中県公館で知事に作柄報告、午後、新幹線で上京。26日朝、正装して宮中へ。宮内庁の掌典長に手渡しの後、天皇陛下からねぎらいのお言葉がありました。



## ◆皇居で印象に残ったことは何ですか？

◇皇居の中は原生林の自然がいっぱいで、本当に静寂でした。

## ◆最後に現在のお気持ちは？

◇大切な役目で、失敗が許されないので、献穀米が災害や害虫で被害に遭わないことを祈るだけでした。今は無事役目を終えてホッとしています。

◆最初に連絡があったのはいつですか？

◇昨年2月末に兵庫県知事の推薦で、県から電話連絡があり、お受けしました。

兵庫県から米と粟を献穀しましたが、神戸市の私は米



9/25 稲架

# 茅刈りは自然との共生

塩澤さんの講演会より



12月3日(土)、恒例の中学生との茅刈りが、前日の雨で足場が悪く、残念ながら初めての中止。ふれあいセンターで茅葺き職人の塩澤さんの講演会のみを実施。参加者は八多中学生全員と教員・地区長・自治委員・ふれまち役員の約百名。茅刈りをするこの意味・茅葺き民家の良さ等を、カヤネズミの珍しい映像を交えながら説明してもらいました。

その後、北区役所作成のビデオ「茅葺きを中心としたまち・こころづく」も観賞しました。

講演会を聴いた中学生の作文です。

## 「茅刈りの講演を聴いて」

八多中学校3年 中原行啓

12月3日(土)は、雨が影響したので「茅刈り」が中止になり講演を聴くことになりました。その講演は「茅の貴重さ、使い道、性質、いいところ」といったものでした。そこで、

僕が心に残ったのは二つです。

まず一つ目は、茅刈りをする必要性。茅刈りをすることによって、新しい芽が出て茅が育つ環境をつくれる。そして、茅の下に住む動物とそれをねらう動物との食物連鎖を保つことができるということが心に残りました。二つ目は、茅葺き屋根にしているところ。茅葺き屋根が減ってきていることを聴いた後、その特性を聴きました。それは、天井に物を置くスペースができ、夏は涼しく、冬は暖かいということが心に残りました。

そこで、「これから先、昔の風景を取り戻すために茅葺き屋根の利用を増加させ、ヒートアイランド現象を今よりもっと抑制できればいいな」と僕は思いました。今回は珍しく中止になった茅刈りですが、講演を聴き体験では分からないことを知ることができてよかったです。茅刈りのことについてはほんの少ししか知らないのですが、次回はこのような機会があれば、是非参加したいと思えます。知識も増やせて理解もできたので、すばらしい一日でした。

# 廃品回収

(年3回)



第3回 2月26日(日)

ありがとうございました

\*八多町善意銀行にご芳志をいただいた方々
中 八多 太鼓様(17周年記念)
(吉尾 神 有 会様第34回ゴルフ大会)
中 中地区自治会様(イベント)
中 松本 延康様(供養として)
附物 北芝 義夫様(供養として)

おめでとつございます

難波いく世さんが
法務大臣表彰受賞

昨年10月5日に人権擁護委員の
難波いく世さん(中地区)が、人権
の擁護と人権思想の普及高揚に貢献
された功績に対し、「法務大臣表彰」
を受けられました。

八多小ふれあいタイム

\*\* 3学期の予定 \*\*

Table with 5 columns: 日, 曜日, 時間, 学年, 担当団体. Rows include dates from 1月13日 to 2月17日 with corresponding times and groups like 民生・社協, 婦人会, etc.

トピックス

「ふれまち八多」76号での巨大ツ
リー出現という記事を覚えておられ
ますか? 昨年はふれあいステージ
前のもみの木に電飾をし、大きなク
リスマスツリーを作成。今年は少し
バージョンアップして、ふれあいス

八多小学校

(北区八多町附物)

<87>

女子サッカープレナスな
でレクリークのINAC神
戸優勝に沸く中央区の大安
亭市場を訪れたのは、15才
ほど離れた北区の八多小学
校3年生26人。対面販売の
商店で、お店の人とやりと
りをしながら買い物をする
という社会科の授業だ。
予算は300円。ミカン
3個、ニンジン1本、天ぷ
ら1舟、パン…。数人ずつ
に分かれて30分ほど市場を
回り、「いれいれいれいれ」
と品定めをしたり、「値段交
渉をしたりして、家族や自
分へのおみやげを袋いっぱい
買い求めた。

学校じまん



市場で店員と話をしながら買い物をする児
童ら=中央区八雲通5

市場で買い物体験学習

田園風景が広がる六甲山
の山あいにある同校は、1
873(明治6)年創設の
伝統校。全校生徒は134
人で、兼業農家の家庭が多
く、多くの児童が小さいこ
ろから農業に親しんでい
る。さらに学校でも近くの
田んぼを借りて、先生役の
しかし、校区周辺にある
のはスーパーやコンビニだ
け。そこで、折しもINAC
C神戸の優勝セールなど、
市場一体で活性化を図る同
市場を初めて訪問した。地
元で実った野菜や米が、ど
ういうルートで販売され、
らった…。市場や商店街た。
消費者のころへ届けられ
るのかを学ぶのが、授業の
目的だ。
「同じミカンでも店によ
は「店の人と話をし、買
つて産地や値段がいろいろ
違う」「ちよっとまけても
買った」。市場や商店街た。

記者の一言

ホームページでは、その日の授業や児童の表情
を細かく紹介。「仕事で忙しい両親や遠くの祖父
母にも身近に感じてもらい、八多町のPRにもな
れば」と藤澤克行教頭。次は町の子たちが農業を
学びに訪れる。などの交流が深まればと思う。
(広畑千春)

地域ニュース

(神戸新聞11/29付掲載記事より)

編集後記

新年おめでとうござい
ます。編集員一同、いつ
も八多のホットニュース
を届けようと苦労してい
ます。何かいいニュース
があれば、お知らせくだ
さい。
今年も
よろし
くお願
いしま
す。



なさんはご覧頂けましたか?
年々少しずつ電球を増やし、
八多のルミナリエとして多
くの人に楽しんでいただけ
ればと思います。今年の12
月を楽しみにお待ちください。